

70th anniversary

地域を盛り上げ

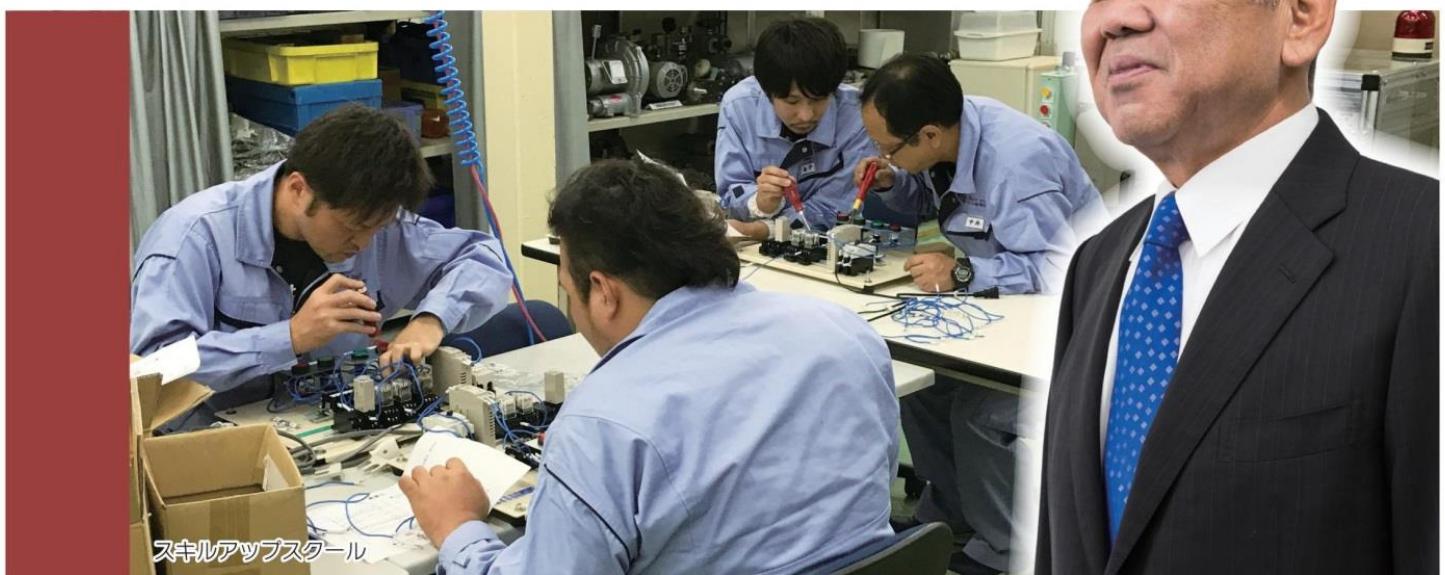


確かな人財を育てる

山本産業では、地元和歌山を盛り上げる様々な活動に積極的に参加しています

また、『人は財である』という理念のもと、人財の育成に取り組み

『愛と思いやりに満ちあふれた 世界一しあわせな会社』を目指しています



スキルアップスクール

役員座談会

山本産業創立70周年 2017年9月21日

大東社長 初代社長の山本良之助さんは、昭和22年に会社の登記をする前から、石鹼の製造などのモノづくりの仕事をされていました。御縁があつて花王さんとの付き合いが始まって65年、花王さん一途に尽くしてこられたという重みを常々感じています。今までこの状態を維持することに精一杯でしたが、これからは如何にして成長していくかが課題になります。私が山本産業により深く係わるようになったのは、平成元年に花王ハウスホールドの課長に就任した頃からです。当時はいろ

いろ無茶なお願いをしていましたが、それでも全て受けてくれるのを山本産業でした。森口さんもその頃は今の比ではなくご苦労されたことだと思います。そういった過去の苦労を分かっているからこそ、平成22年に社長に就任した際、新たな経営理念・行動指針を掲げました。今はその変化の過程で、皆さんに様々なご無理を聞いてもらっています。それは全て会社のため、みなさんの成長と幸せに繋がっていく、そんなマネジメントをさせていただいております。

森口取締役 山本会長から言われてることで一番印象に残っているのは、「山本ファミリー」なのだから忙しいところがあれば、何を置いてもどこにいても駆けつけ助ける」ということです。今よりずっと人數が少なかつたからとうこともありますが、それは大企業にはない強みだと思うので、変わらず続けていきたいと思います。

大東 大から今があるのだと思います。花王さんとの信頼関係を築けているからこそ、任せてもらえる仕事も増えていったのでしょうか。機械オペレーションの仕事も普通は考えられらなかつたと思います。当時から相当なご苦労をされたてきたのだと思いますよ。※詳しくは部門別座談会で

森口 いつしか花王さんが『パートナー』と言ってくれるようになりました。それ以前は『パートナー』と言つてくれますか。

大東 今年で70周年、あと30年で100周年を迎えます。その頃にはどれくらいの規模までと考えていますか。

山本分場長 そうですね、今

昭和22年(1947)10月 山本良之助により資本金195千円にて株式会社山本化学工場を設立 本店を和歌山市太田369番地に置き、洗濯石鹼・伸線用石鹼の製造を開始



昭和26年(1951) 花王石鹼株式会社和歌山工場の下請業務として工業用石鹼・薬用石鹼の受託加工業務を開始



昭和29年(1954) 花王新洗剤(ワンドフル)の充填加工を当社太田工場並びに花王石鹼株式会社和歌山工場内で受託加工開始

昭和32年(1957)12月 商号を株式会社山本化学に変更とともに代表取締役に山本純敏が就任 花王石鹼和歌山工場内にて家庭用洗剤・業務用洗剤・化学品の充填包装作業の受託加工開始

昭和37年(1962) 御前松工場の工場機能(硫酸銅等の製造)を太田工場に集約※後に花王物流倉庫として昭和40年代初期まで操業

昭和52年(1977)5月 商号を山本産業株式会社に変更 本店を和歌山市紀三井寺531番地4へ移転 業務拡大に向けて本社工場設立(工場・社員寮・事務所の機能を備える)※太田工場閉鎖(和歌山駅周辺の区画整理のため)花王石鹼社長(丸田芳郎氏)より、花王協力会社としての功績を認められ表彰を受ける



平成15年(2003) 花王工場内ハウスホールド部門新セット工場の受託開始 ※従業員増加に伴い、送迎用大型バスの運行開始



平成16年(2004) 特定労働者派遣事業開始

平成17年(2005) 紀三井寺本社工場にセット工場増設

経営理念『人を財として 顧客に満足いただける 優れた価値を提供し 顧客と社会に貢献する』を掲げ 人財育成、福利厚生の充実、地域を盛り上げる活動への 積極的参加など、あらたな取り組みを進めていく

平成22年 代表取締役会長に山本純敏が就任
(2010) 代表取締役社長に大東俊晶が就任



平成23年 台風12号で被災された日高川町の 復興支援ボランティアに参加
(2011)9月



平成24年 障がい者の社会的自立支援とステップアップを目的として、紀三井寺本社工場内に【ハッピーミュ作業場】を開設
(2012)4月



5月 PHP研修(外部講師による研修会)
第1期生スタート※現在は第4期生
『心と技』を兼ね備えたリーダーの育成に取り組む



平成25年 和歌山税務署より優良申告法人として 表敬を受ける
(2013)11月

平成26年 スキルアップスクール第1期生スタート
※現在は第3期生
『心と技』を伴った設備に強い オペレーターの育成に取り組む

平成27年 よさこいクラブ【YMSG～絆～】発足
夏・秋の『おどるんや紀州よさこい祭り』に 每年参加、地元和歌山を盛り上げる
(2015)5月



平成28年 【アルテリーヴォ和歌山】の選手雇用パートナーとして、チームの運営を支援する
※現在6名の選手が在籍、活躍中
(2016)2月



平成29年 創立70周年記念Yamamotoファミリー 大運動会を開催
家族・OB・お世話になったみなさんを 含む約900名が参加
(2017)2月

11月 『和歌浦ペイマラソンwithジャズ』の協賛 企業として、地域盛り上げの一躍を担う
※マラソン参加は2014年大会から

平成30年 岩出市に新工場設立(予定)
(2018)2月



大東 それには「やるんだ!」といふトプの強い気持ちと、そのうえでどう向かっていくのか、何をやっていくのかが重要になります。簡単にはいかないし、失敗もあるでしょう。その時は一人の力では難しいからみんなの力を、または外部の力を借りながら、自分の信念を持つてやり抜くことが必要です。ただし、売り上げが上がればいいかといえばそれだけではない、やはり従業員のみなさんにとって良い会社であらねばならないと思います。それについてはどう考えていますか。

大東 会社の規模を大きくして うことは、その先にいる取引先のお客様にも満足して貰えていると考えます。リーダーやメンバーの皆さん方が良い仕事をしてくれて、良い商品を作ってくれて、それが更なる利益に繋がっていくと私は思います。

大東 私の理想は『山本産業グループ』として、色んな形で和歌山のために事業をやっている会社です。

大東 良い商品をつくることは、生活に必要な物を提供するという社会貢献でもあります。何か節目の時には、「みなさんがやってるかなあ

大東 96歳か・車イスでお祝いに駆けつけるから、100周年の運動会も楽しみにしていますよ。

山本 やはり『従業員第一』を掲げ今やっていることは、私としては間違ではないと思うので、大事にして行きたいです。今は工場長という立場ですが、私の立場での顧客はリーダーの皆さんであります。その顧客はリーダーの皆さんであり、メンバーの皆さんと一緒に考えていました。その皆さんに満足してもうえるとい

大東 石けんのモノ作りから始まつたので、理想はモノづくりの会社を続けて行きたいと思います。今でも日本の人口はどんどん減っているので、その頃には海外へということも考えられますね。

山本 そうですね。そのためには、色々な情報と知識も必要ですね。そのためには、色々な情報を聞きたいと思います。自分とのところだけ良ければという会社であれば大した会社にならず、そこで働く従業員もそうなってしまうでしょう。

大東 『物心豊』心が豊かなだけでは足りない、物も必要です。給与面、福利厚生面など、まだまだ変えて行くことが出来ます。OBさんも入った『山本ファミリー会』も作りたいですね。



森口 それは一番大事なことだと思いますので、広めて行きたいですね。

森口 それは一番大事なことだと思いますので、広めて行きたいですね。

いることには意味がある、それぞれ重要な仕事をしてくれている」ということを感謝の気持ちを添えて伝えてあげてほしいと思いま

部署別 座談会

クト化により軽量化されていましたが、当時は大きくて重い物が沢山ありました。あの頃の女性は本当にパワフルだったと思います。

直送作業(拠点配達)

創立70周年を迎えて、入社から20年30年と会社と共に歩み、会社を支えて来たださったみなさまに、入社当時から今までの会社の様子や、長く勤めてきたからこそ語れる様々なエピソードなど、色々なお話を聞かせていただきました。

【花王石鹼】時代

熊倉 私が入社した昭和50年代中頃は、花王さんがまだ「花王石鹼」と呼ばっていました。

朝倉 部署名も今とは違い、ハウスホールドは【洗剤課】、ケミカルは【化学品】、ペーソナルケアは【香粧品】と呼ばれていて、山本産業では洗剤課は【第一課】、化学品は【第二課】、香粧品は【第三課】と分類していました。

熊倉 最初に配属されたのは第三課(香粧品)で、洗顔石鹼の製造をしていました。『石鹼取り』といって、流れてくる石鹼を6つずつ箱に詰めていく作業です。入社してひと月くらいした時に、洗剤課でホーミングパット(金属タワシ)の製造が始まり、そこに異動になつたんです。

朝倉 当時は出勤すると、残業するのが当たり前で、お昼過ぎ



熊倉 信子さん

昭和53年入社

にリーダーが現場に来て、「〇〇さん、今日は〇時まで残業ね」と言われるだけで、今のように「残業どうですか?」とは聞いてもらえませんでした。残業当番表というのがあって、そこに毎日残業時間が書かれています。本当に大変だったけれど、みんなで乗り越えてきたから出来たんだと思います。

熊倉 今とは違つて設備の機械化がされておらず、段ボールの組み立てや製造番号の打印、封かんのための糊付け等も全て手作業でした。製品も今はコンパク

ト化がされてしまつたからかんのための糊付け等も全て手作業でした。製品も今はコンパクト化がされてしまつたからかんのための糊付け等も全て手作業でした。製品も今はコンパ

熊倉 毎日17時ごろにバイク便で伝票が届き、そこから伝票整理・包装を行い、18時半までにはすべての発送を終わらせなければなりません。包装の仕方も、商品の組み合わせや包装方法により何パターンもあり、作業が終わればすぐに出荷されるため、間違いはなかつたかかり、作業が終わればすぐに出荷されたり、何度も出荷されたものを探りかけて再検品をした記憶があります。

ケミカル人員増減

河本 私が入社した昭和55年頃、ケミカルは今より多くの職場を請け負っていました。花王工場内の広範囲に点在してい



河本 龍一さん

昭和55年入社

山本産業のオペレーター第1号!

朝倉 私は昭和57年に入社し、第一課(洗剤課)に配属されました。入社して3ヶ月くらいした時に、突然機械の運転を任せられました。当時の機械は今より

ずっとラインが長く、安全のためのカバーや装置も付いておらず、危ないところにいくらでも手が届く状態でした。ちゃんと手順書もなく、トラブルが起

きた時には、花王のオペレーターさんが調整しているのを見つかりました。そこで、私が運転する係りや、その材料を取りに行つたり、出来上がつた製品を運んだりするフォークリフトマシンもおらず、オペレーターは機械を運転しながら、その全てを使つて、『直送』という作業を行つていた時期がありました。百貨店などでお客様が注文したギフト品を工場で包装し、それを運送会社が取りに来て個人宅に発送する作業なのですが、それがとにかくしんどい仕事だったんです。

熊倉 ある時、当時の社長(山本会長)が紀三井寺分工場と距離が離れすぎているので、物流のコスト等を考えて、もっと近くに大型の自社工場を建てようと言いました。そこで、ちょうどその頃、石鹼の生産がどんどん海外に移管されていて、石鹼の供給機が徐々になくなり、3階のフロアに空きが出来ていて、建設計画の話を聞いた当時の担当の方が、3階のスペースを有効活用したらどうかと言つてくださいました。そこで、私がラインの構成を考え、コスト的な部分

後ろから見て対処法を覚えました。今のように、材料を機械に供給する係りや、その材料を取りに行つたり、出来上がつた製品を運んだりするフォークリフトマシンもおらず、オペレーターは機械を運転しながら、その全てを使つて、『直送』という作業を行つていた時期がありました。当時に比べると、今は安全面でも作業面でも、いろいろ改善されたと思います。【試供品工場】が新しく移設されました。その後、海外工場での生産になり、その他の職場も他社へ引き継ぐなどして、請け負う範囲が狭くなりました。中でも『トナー工場』がなくなつたことは大きく、それにより人数が大幅に減りました。その当時はケミカルでも交替勤務をしていて、トナー充填作業には女性もたくさん在籍していたんですよ。

セットライン誕生

朝倉 ある時、当時の社長(山本会長)が紀三井寺分工場と距離が離れすぎているので、物流のコスト等を考えて、もっと近くに大型の自社工場を建てようと言いました。そこで、ちょうどその頃、石鹼の生産がどんどん海外に移管されていて、石鹼の供給機が徐々になくなり、3階のフロアに空きが出来ていて、建設計画の話を聞いた当時の担当の方が、3階のスペースを有効活用したらどうかと言つてくださいました。そこで、私がラインの構成を考え、コスト的な部分

は小林さんが計算してくれました。そうしてできたのが、花王工場内セットライン1号機なんです。今そのラインは、ハミガキチューブのシール貼りラインとして使われています。続いてその横に2号機、3号機と増設していつたんです。那次が、ハウスホールドのセット工場ですね。自動倉庫が出来て、その時も同じようにお話をいただいたんですね。ちなみに、歯磨の充填機の運転を、最初に任せられたのも私なんですよ。



分工場に社員寮？

小林 私も朝倉さんと同じ、昭和57年入社です。入社してから色々なところに行きましたが、パソコンケアのセットライン立ち上げは大きな出来事でした。昔ケミカルが盛んだったころは、分工場でもトナーの充填作業をしていたんですよ。今まで壁とかダクトに黒く跡が残つていて、その名残があります。服

も鼻も真っ黒になつたくらいですからね。

その他にも充填機が何台かあつて、歯磨のシュリンク(フィルムを巻く機械)もやつしていましたね。分工場でも交替勤務をしていました時代があるんです。昔を知らない人からすると、意外ですよね。第三課(香粧品)で製造する石鹼の箱折り作業もしていました。そのために新しく人を雇つたくらいで、かなりの仕事量でしたね。

分工場といえば、アタックのセット作業ですね。夜遅くまで作業する日が何日も続きましたよ。あれを経験した人はわかつてくれるだろうけど、想像を絶するしんどさでしたね(笑)。当時はトラックバースに屋根がなくて、雨が降つてくると材料が濡れるから、いちいちシートをかけたり、余計な作業も多かつたんです。ラインも今よりも少なくて、生産が間に合わないもんだから、休みも常に運転している状態でした。辛かつたですね(笑)。

それともうひとつ大きな出来事があつたんです。経験された方もいらっしゃると思いますが、「阪神淡路大震災」ですよ。あの地震で関西の倉庫が全部被害にあって、その手直しが一気に和歌山工場に来たんです。あの時は、

どこのセット作業も大変でした

よね。

朝倉 知っている人も多いけど、

分工場のみなさんが休憩所や衣室として使つている建物、あれは元々社員寮だったんですよ。

小林 最初は食堂もあつて無料で食事が出てたんですよ。多い時は40人くらい入居してたかな。若い人もいたし、県外から来た人もいましたからね。平成10年くらいまでは寮として使用していました。

したけど、計算は全部電卓です。タイムカードも、今みたいなカード式ではなく紙タイプで、月末になつたら全員分引き上げてきて、勤務時間を7時間とか8時間とか書いていくんです。給与も現金支給で、その当時の従業員数はだいたい300人くらいだったから、今だと考えられないですね。

ただ、勤務時間7時間とかカード式ではなく紙タイプで、月末になつたら全員分引き上げてきて、勤務時間を7時間とか8時間とか書いていくんです。給与も現金支給で、その当時の従業員数はだいたい300人くらいだったから、今だと考えられないですね。

最後に、今最前線で頑張ってるリーダーのみなさんにメッセージをお願いします。

今は昔に比べると、いろんな面で楽になつたと思います。「業務」という目標で考えれば、それには違うかもしませんが、「業務」という目標で考えれば、それには専門職が増えた分、當時に比べて負担を減らすことが出来ていると思います。その分の時間や能力を『人(メンバーのみなさん)』に向けて、注力していくべきだと思います。昔に比べて従業員の数は大幅に増えています。リーダーひとりに対し、メンバーの数が多く、なかなかひとりひとりと関わるというのは難しく、簡単にはいかないこともあります。簡単にいえばまた、その時代に合つた問題も出できます。簡単ではないです。目に見えない苦労もあると思いますが、これからもみんなで一緒に山本産業を盛り上げていきましょう。

分工場といえど、アタックのセット作業ですよね。夜遅くまで作業する日が何日も続きましたよ。あれを経験した人はわかつてくれるだろうけど、想像を絶するしんどさでしたね(笑)。当時はトラックバースに屋根がなくて、雨が降つてくると材料が濡れるから、いちいちシートをかけたり、余計な作業も多かつたんです。ラインも今よりも少なくて、生産が間に合わないもんだから、休みも常に運転している状態でした。辛かつたですね(笑)。

それともうひとつ大きな出来事があつたんです。経験された方もいらっしゃると思いますが、「阪神淡路大震災」ですよ。あの地震で関西の倉庫が全部被害にあって、その手直しが一気に和歌山工場に来たんです。あの時は、

その頃もまだワープロしかなくて、1~2年してから1台だけパソコンが入ってきたんです。

朝倉 知つている人も多いけど、『Windows 95』(笑)その1台をみんなで使いまわしました。給料計算には『オフコン

(オフィスコンピューター)』といふ別のコンピューターがありました。

ただ、勤務時間7時間とかカード式ではなく紙タイプで、月末になつたら全員分引き上げてきて、勤務時間を7時間とか8時間とか書いていくんです。給与も現金支給で、その当時の従業員数はだいたい300人くらいだったから、今だと考えられないですね。

ただ、勤務時間7時間とかカード式ではなく紙タイプで、月末になつたら全員分引き上げてきて、勤務時間を7時間とか8時間とか書いていくんです。給与も現金支給で、その当時の従業員数はだいたい300人くらいだったから、今だと考えられないですね。

最後に、今最前線で頑張ってるリーダーのみなさんにメッセージをお願いします。

今は昔に比べると、いろんな面で楽になつたと思います。「業務」という目標で考えれば、それには違うかもしませんが、「業務」という目標で考えれば、それには専門職が増えた分、當時に比べて負担を減らすことが出来ていると思います。その分の時間や能力を『人(メンバーのみなさん)』に向けて、注力していくべきだと思います。昔に比べて従業員の数は大幅に増えています。リーダーひとりに対し、メンバーの数が多く、なかなかひとりひとりと関わるというのは難しく、簡単にはいかないこともあります。簡単にいえばまた、その時代に合つた問題も出できます。簡単ではないです。目に見えない苦労もあると思いますが、これからもみんなで一緒に山本産業を盛り上げていきましょう。



小林 俊幸さん 末田 治さん

分工場といえど、アタックのセット作業ですよね。夜遅くまで作業する日が何日も続きましたよ。あれを経験した人はわかつてくれるだろうけど、想像を絶するしんどさでしたね(笑)。当時はトラックバースに屋根がなくて、雨が降つてくると材料が濡れるから、いちいちシートをかけたり、余計な作業も多かつたんです。ラインも今よりも少なくて、生産が間に合わないもんだから、休みも常に運転している状態でした。辛かつたですね(笑)。

それともうひとつ大きな出来事があつたんです。経験された方もいらっしゃると思いますが、「阪神淡路大震災」ですよ。あの地震で関西の倉庫が全部被害にあって、その手直しが一気に和歌山工場に来たんです。あの時は、

末田 今は全部銀行振込ですかね。やはり貰つた時の気持ちは違いますよね。でも電卓の時代とは違い、ミスは減少しましたし、ずいぶん楽になりました。

朝倉 知つている人も多いけど、『Windows 95』(笑)その1台をみんなで使いまわしました。給料計算には『オフコン

(オフィスコンピューター)』といふ別のコンピューターがありましたが、

その頃もまだワープロしかなくて、1~2年してから1台だけパソコンが入ってきたんです。

ただ、勤務時間7時間とかカード式ではなく紙タイプで、月末になつたら全員分引き上げてきて、勤務時間を7時間とか8時間とか書いていくんです。給与も現金支給で、その当時の従業員数はだいたい300人くらいだったから、今だと考えられないですね。

ただ、勤務時間7時間とかカード式ではなく紙タイプで、月末になつたら全員分引き上げてきて、勤務時間を7時間とか8時間とか書いていくんです。給与も現金支給で、その当時の従業員数はだいたい300人くらいだったから、今だと考えられないですね。

最後に、今最前線で頑張ってるリーダーのみなさんにメッセージをお願いします。

今は昔に比べると、いろんな面で楽になつたと思います。「業務」という目標で考えれば、それには違うかもしませんが、「業務」という目標で考えれば、それには専門職が増えた分、當時に比べて負担を減らすことが出来ていると思います。その分の時間や能力を『人(メンバーのみなさん)』に向けて、注力していくべきだと思います。昔に比べて従業員の数は大幅に増えています。リーダーひとりに対し、メンバーの数が多く、なかなかひとりひとりと関わるというのは難しく、簡単にはいかないこともあります。簡単にいえばまた、その時代に合つた問題も出できます。簡単ではないです。目に見えない苦労もあると思いますが、これからもみんなで一緒に山本産業を盛り上げていきましょう。

若手の

座談会

お題

10年後

いなないようにしたいと思います。

小波 私は岩野さんが言つてゐることも、同じことではないかなとも思ひます。「上にあがりたいから頑張る」「楽しいから頑張れる」どちらも「仕事に対する気が出るかどうか」だと思います。

山本 あと30年すると創業100年です。その頃には売り上げを今の3倍にしたいと、先日社長に宣言しました。今まではいろいろと制限もあり、到底難しい数字です。山本産業は、もともと自社で石鹼を製造する会社でした。私も新しい事業を分たちの製品を造つて行きたいとなると、何かモノづくりをしたいと思います。何かはわかりませんが、自分たちの会社で自分が足りない：教育の仕方など様々です。みんなが樂しくしてくればいいと思いま

す。仕事に来る理由も、生活のために来る人、時間が空いてるからおしゃべりがしたくて来る人など様々です。みんなが樂しくしてくればいいと思いま

後 僕は現場力を上げたいと思っています。今は「働きに来てください」という状態だけれど、向こうから「働きたい」と来てもらえる会社が理想です。

岩野 基礎とか全体のマニュアルがあれば良いと思います。オペレーターの場合、各現場で作業手順や対応などが違うので、他の現場に行くと何をしていいのか分からぬことがあります。基礎を学び、手順や対応の仕方を共有することで、お互いが能力アップ出来るし、助け合いも出来るようになると思う。

60代までの幅広い年齢層の方が集まって仕事をしています。大変な作業も楽な作業も色々あります、どこに行つても楽

しく作業して欲しいと思いま

山本 確かに根本は一緒なのかではないでしょうか。何をして行つたらいのか」ということかもしれませんね。

後 僕は現場力を上げたいと

【樂して儲ける会社】になつていればいいなと思います。そのためには、ある程度それぞれの力が必要になると思う。現状では何かが足りない：教育の仕方

東浦 10年後は今よりもっと【樂して儲ける会社】になつていればいいなと思います。そのためには、ある程度それぞれの力が必要になると思う。現状では何かが足りない：教育の仕方

60代までの幅広い年齢層の方が集まって仕事をしています。大変な作業も楽な作業も色々あります、「どちらも『仕事に対する気が出るかどうか』だと思います。

60代までの幅広い年齢層の方が集まって仕事をしています。大変な作業も楽な作業も色々あります、「どちらも『仕事に対する気が出るかどうか』だと思います。

山本 確かに根本は一緒なのかではないでしょうか。何をして行つたらいのか」ということ

後 僕は現場力を上げたいと

60代までの幅広い年齢層の方が集まって仕事をしています。大変な作業も楽な作業も色々あります、「どちらも『仕事に対する気が出るかどうか』だと思います。

60代までの幅広い年齢層の方が集まって仕事をしています。大変な作業も楽な作業も色々あります、「どちらも『仕事に対する気が出るかどうか』だと思います。

山本 確かに根本は一緒のか

後 僕は現場力を上げたいと

山本 純久
平成24年入社

東浦 敬明
平成23年入社



島本 知子
平成25年入社

島本 知美
平成17年入社

上川 さち
平成15年入社



いないようにしたいと思います。

上川 メンバーの一人一人が、もっと【安心して働ける環境】を作つていただきたいなと思います。

東浦 10年後は今よりもっと【樂して儲ける会社】になつていればいいなと思います。そのためには、ある程度それぞれの力

が必要になると思う。現状では何かが足りない：教育の仕方

なのが増えてもいいんじゃないかなと思う。男性には見えていない部分も、女性目線で考えられ

上川 教育のマニュアル・基礎をしっかりとすれば個人も成長するし、もつと自分の意見も言える

岩野 現場力を上げるには、まづ個人の成長。自分から進んで知識や技術を共有して学んでいくことが必要かな。

後 みんなが思う10年後になるためには何が必要か、何が考えられるかを出していきましょう。

山本 そのために教育の基礎は大事になってしまいますね。

岩野 仕事内容で男女を分けるのではなく、その人の出来る部分をどんどん伸ばしていくようにしたいと思う。

波多野 女性の方が器用だし、出来る人は他にもたくさんいると思いますよ。



金子 自社製造なら、それを商品として売ったりもできるしね。何かを造っている会社でありたいと思う。モノづくりの会社として自社ブランドの物を造りたい。めちゃくちや勉強しないといけないし、今よりもっと責任感も必要になるけど、すごくやりがいになると思う。

山本 30年後となれば日本の人口もどんどん減っていくのですね。作業のノウハウを持つて行つて工場を建て、現地で人を雇うことも出来ますね。

金子 おもしろいですね。やってみたい!

山本 そうなつたら突然海外出張もあるかも知れませんね。



後 和弥
平成21年入社



波多野江里
平成16年入社

ようになるので、リーダーもメンバーもお互いに成長していくれるんじゃないかと思う。チーム力を上げるのも教育。みんなと一緒につくりあげていくためには、そこが根本的に必要なところだと思う。

金子 社会に出て最初の2~3年は、すごく大事な時期だと思う。そこで知り合った人からなどを学ぶので、最初に良くないうイメージを与えてしまうと働くのが嫌になってしまふ。仕事を覚えて行くのは楽しいだけじゃないけれど、もつと【伸び伸びと学べる環境】を作つてあげたいと思う。

岩野 やりがいとかモチベーションとか諸々を、更に濃く出ることを考えてみよう。

金子 何か別の事業を始めて、『こんなことをしてみたい』とか考えたいな。

上川 何年か前から思つていたことなんだけど、材料とか段ボールとかを自社で製造したら、材料が届かなくて困ることも無くなるよね。

金子 給料が上がればモチベーションも上がる。それが自分分の評価になるからね。

後 新しいことにチャレンジして、売上げが伸びることで、給料のアップや、今よりもっと福利厚生を良くしていくことにも繋がると思う。

金子 給料が上がればモチベーションも上がる。それが自分分の評価になるからね。

岩野 ココで働いていますと自分が楽しく働いている会社。若い子がずっといたいと思う会社。

岩野 行きましょう！言葉が通じないのは向こうも一緒にだから、身振り手振りでコミュニケーションを取つてもやつて行こうよ。そうすれば10年後にきっと良いことが生まれると思う。

岩野 やりがいとかモチベーションとか諸々を、更に濃く出ることを考えてみよう。

金子 何か別の事業を始めて、『こんなことをしてみたい』とか考えたいな。

上川 何年か前から思つていたことなんだけど、材料とか段ボールとかを自社で製造したら、材料が届かなくて困ることも無くなるよね。

金子 自社製造なら、それを商品として売つたりもできるしね。何かを造つている会社でありたいと思う。モノづくりの会社として自社ブランドの物を造りたい。めちゃくちや勉強しないといけないし、今よりもっと責任感も必要になるけど、すごくやりがいになると思う。

山本 おもしろいですね。やってみたい！

山本 30年後となれば日本の人口もどんどん減つていくのですね。作業のノウハウを持つて行つて工場を建て、現地で人を雇うことも出来ますね。

金子 おもしろいですね。やってみたい！

山本 そうなつたら突然海外出張もあるかも知れませんね。



岩野 宜樹
平成25年入社

金子 大晃
平成26年入社

小波 ラインが故障したつて夜中に呼ばれたりね。

岩野 行きましょう！言葉が通じないのは向こうも一緒にだから、身振り手振りでコミュニケーションを取つてもやつて行けるよ。

金子 始めに後君が言った【外から来たくなる会社】いいよね！福利厚生がしっかりしてて、いろんなことにチャレンジして、みんなが楽しそうに働いている会社。みんなが入りたくなる会社。若い子がずっといたいと思う会社。

岩野 ココで働いていますと自分が楽しく働いている会社。若い子がずっといたいと思う会社。

岩野 慢できる会社！

山本 10年後はみんなで、『あの大企業で働きたい！』と【人が集まつてくる会社】にしていくたいですね。

山本 10年後はみんなで、『あの大企業で働きたい！』と【人が集まつてくる会社】にしていくたいですね。

テレビ和歌山の
夕方のニュース内で
放送されました!



(司会：和歌山県住みます芸人 わんだーらんど)

創業70周年記念 Yamamotoファミリー大運動会

平成29年2月26日(日) 和歌山ビッグホエール

創業70周年を記念して大運動会を開催しました。

従業員のご家族をはじめ、会社OBの皆様、日頃お世話になっている皆様と、ご来賓には、尾花和歌山市長をはじめ、地域に貢献する議員の皆様にご参加いただき、総勢900名の盛大な運動会となりました。ご参加いただいた皆様には、記憶に残る楽しい一日をお過ごしいただけたのではと思います。また節目節目にこのような会を開くことを楽しみに、一緒に会社を盛り上げて行きましょう。



社長挨拶



アルテリーヴォ連手による
ラジオ体操



よさこい演舞



紅勝て!



白勝て!



蛇の皮むき競走



パン食い競走



綱引き



借り物競走



若手考案!!
山本産業競走



親子競走



優勝白組!!



競技の考案・準備・進行など、
若手メンバーが中心となって
取り組んでくれました。

編集後記

この度、山本産業は創業70周年を迎えることができました。

先人が築き上げた道があったからこそ、こうして迎えることができたと思います。

在籍されている皆様をはじめ、そのご家族、今までお勤めていただいた皆様に心より感謝申し上げます。

最後となりますますが今回発行に協力していただいた関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

編集局長 山本純久